



東京金山会通信 No.48

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

「かねやま市」近況報告

「かねやま市」も会を重ね、2023年3月25日で10回目の開催となりました。
「かねやま市」開催日は、毎回雲一つ無い透きとおった青空いっぱいの快晴に恵まれることが多く、「晴れ男」がいるのか雨降りになった事はありません。
2月25日に開催したかねやま市も、東京金山会事務所のご近所さんが沢山訪れ賑わいをみせました。お客様が同級生に会い、金山町の昔話に花が咲き、聞いている私達も大変懐かしい思いをさせていただき、仲良くお話をされている姿を見ていると、故郷を想うお姿に金山中学校校歌が聞こえてくるように感じました。
積もる話もあったようですが閉店時間になり、後ろ髪を引かれる思いで次回のかねやま市で会われる約束をしてお帰りになされました。役員も終始笑顔が絶えない楽しい一日になりました。

かねやま市は毎月第4土曜日に開催しております。東京に在住のお友達などに、町民の皆さんからお声をかけていただけるとありがたいです。金山町の春の香りを準備してお待ちしております。

①季節に合わせた金山の特産品を準備しています！ ②お客さんと役員が会話を楽しみながらかねやま市を開催しています



No.206 「森の子ども図書コーナー」 交流サロンぽすと内



『パンドろぼう』
(柴田ケイコ/作絵
KADOKAWA)

まちのパン屋からササッととびだすひとつのかげ。パンがパンをかついで逃げていきます。「おれはパンドろぼう。おいしいパンをさがしもとめる大どろぼうさ！」はたしてパンに包まれたその正体とは!? ある日、森の中で見たことのないパン屋を見つけたパンドろぼう。「世界—おいしいパン屋だと! ちょっとのぞいてみるか…」中をちらりと覗き込むパンドろぼう。焼きたてのおいしそうなパンがズラリ。パン屋のおじさんの目を盗み、ねらったパンをかついたら出口まで一気にピューン! かくれがに戻り、おいしいパンにほおずりしたら大きなお口で「いただきまーす!!」さて、そのお味は…?



※()内作者名

花 幻想 (二) (鹿間広治) / 不思議カフェ NEKOMIMI (村山早紀) / 川のほとりに立つ者は (寺地はるな) / 地図と拳 (小川哲) / 発達障害の人が見ている世界 (岩瀬利郎) / 喜ばれる人になりなさい (永松茂久) / 体がバテない食薬習慣 (大久保愛) / 股関節ムーブ (miey)

旬のカレンダー (旬の暮らしをたのしむ会) / かぞえきれない星の、その次の星 (重松清) / アンマーとぼくら (有川浩) / 爆弾 (呉勝浩) / 舟方 (夕木春央) / 旅猫リポート (有川浩) / なんとかしなくちゃ。青雲編 (恩田陸) / クロコダイル・ティアーズ (栗井脩介) / そして誰もゆとらなくなった (朝井リョウ)

「ハヤブサ消防団」
(池井戸潤/集英社)
東京での暮らしに見切りをつけ、亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住んだミス田舎暮らしが始まった。地元消防団への入団を決意した太郎だったが、やがて集落でひそかに進行していた事件の存在を知る。連続放火事件に隠された真実とは? 二転三転どころではないとんでん返しはラストまで続く。



「大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした」
(フルベウ/ダイヤモンド社)
痛くても痛くないふり。悲しくても悲しくないふり。つらくても、つらくないふり。転んだとき、心によりどころのない人ほど大丈夫なふりをしてしまう。自分よりも他人を優先してしまうあなたへ。人間関係、仕事、恋愛、幸福、自由、孤独、夢、不器用な生き方を応援してくれる、「ひとりですらいついときに読みたい本」



今月は17冊!

地域おこし協力隊 通信 No.12

隊員 本間 真生



協力隊2年目終了!

こんにちは。協力隊の本間です。あっという間に金山に来て2年が経ちました。町を歩くと顔と名前が分かって挨拶できる人が増えました。この2年間で色んな世代の人と出会えたこと、本当に宝物だなと感じています。
今回は私が、2年目に取り組んだ活動を紹介したいと思います。私のミッションは金山のファンを増やす(関係人口の創出)ことです。毎月のポストカード発行や、オンラインイベントで金山の特産品等を送り農家さんや町の人と交流しました。また、キャリアを考える合宿を金山で開催したことや「やんばいマルシエ」という金山の物品を関東圏で販売する活動等を行いました。他にも通年で町案内もしました。
金山に訪れた方は、「金山住宅に泊まってみたい。将来の家はこんな家が良い!」、「水の流れがどこにいても聞こえてゆったりと時間が過ぎるのが良い!」、「土地も人も心地よい町」などとても満足して帰られます。2年目の私の活動を通して金山に足を運



Facebookで活動を発信しています!ぜひチェックしてください!

千葉県で開催した「やんばいマルシエ」の様子



んでくださった方とイベントに参加してくださった方は合わせて132人。そのうち2回以上のリピーターは27人でした!
3年目は、引き続き町の魅力や面白いことを発掘しつつ、町外の人の受け入れもしながら、町内外の人が集える拠点作りもしたいと思っています。3年目もどうぞよろしくお祈りします!

ふんばい

金山杉俳句会報 第四七三回

湯沸かしのピーと鳴る音春のうた 春隣白味噌汁の匂ひして	岸 あき子	冬陽浴び映ゆる墨絵の龍馬山 ココア飲み舐の戦想ひをり	星川 キエ子	春の香を両手広げて深呼吸 厳しさも緩んで四温の春陽ざし 春めきて帰る童の声高し	菅 越 庄司 けみ子 荒屋 関 喜美子
寒波来る人算黙して夜明け待つ 水蒼く静かに流る冬の川	阿部 一代	春光や園児の放つ稚魚の群 緋毛氈に譲りて子供部屋	鶴沼 よし子	雪国をしばし忘れる露天風呂 雪解けに望みふくらむ花畑 園芸の本をめくりて春を待つ	荒屋 阿部 勝子
楽しいめるお庭の木々の雪景色 雪山に伐採響く小唄かな	高橋 洋子	春光や園児の放つ稚魚の群 緋毛氈に譲りて子供部屋	阿部 一代	雪国をしばし忘れる露天風呂 雪解けに望みふくらむ花畑 園芸の本をめくりて春を待つ	荒屋 阿部 勝子
御祈願の鈴の音響く春の風 淡雪や染めし名残のうす化粧 空に舞ふ火の数や春の鳥	七日町 柴田 栖静	進学や明るく弾む孫の声 逢へぬ身の不安のよぎる春病棟 冬去りし巡る想ひは夢の跡	上台 阿部 一步	雪国をしばし忘れる露天風呂 雪解けに望みふくらむ花畑 園芸の本をめくりて春を待つ	荒屋 阿部 勝子